

事業所名 府中市子ども発達支援センター（保育所等訪問支援事業）

配布数 7 回収数 7

公表日 2026年 3月 2日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	課題や改善すべき点
環境 制・ 運 備 営 ・ 体	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	6	0	利用者の状況に応じて適宜用意している。	引き続き取り組む。子どもの状況を適宜確認し、必要に応じて変更していく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	訪問職員は専任ではなく他事業との兼務となっているのでグループ支援や通園（児童発達支援事業）など集団での療育イメージのある職員が担当できる。	他事業との兼務のため余裕はないが、時間や体制について、兼務している事業とも調整をとりながら実施する。
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	毎回の記録を大事にし、広く職員が事業内容をいつでも把握できるように工夫している。担当者全員で情報共有する機会を定期的に設けた。	今後も継続して取り組む。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	年に一度、保護者からの聞き取り調査を実施し、業務改善につなげている。また、訪問後の報告やグループ来所時の対話を通して意向把握に努めている。	今後も継続して取り組む。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	年に一度、事業所として自己評価を実施し、業務改善に繋げられるようにしている。定期的に係長・施設長との面談機会を設けている。	今後も継続して取り組む。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	昨年度は自己評価に第三者評価機関が参画し今年度は第三者評価を実施している。	評価結果から把握した課題の改善策について取り組んでいるか確認する意識を持つ。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	訪問支援を含め、施設内で研修計画をもとに実施している。	今後も継続して取り組み、職員の資質の向上を図る。
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	6	0	計画作成前に、保護者と面談を実施している。また、対象児の訪問先施設の様子を観察し、アセスメントをおこなっている。	今後も継続して取り組み、職員の資質の向上を図る。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	支援計画を作成する際、担当職員からご家族の希望を伺い計画を作成し、児童発達支援管理責任者を含めて確認作業も行っている。計画の内容については訪問先施設の先生方とも共有している。	今後も職員全体で検討していく。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5	1	アセスメント訪問時に聞きとっている	利用開始前から訪問先施設と連携し、共通認識を持って支援にあたるよう努める。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	児発管との共有ができており、職員全体の共有は係内の定期報告会及び記録にて行っている。	引き続き取り組んでいく。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	発達検査を標準的に使用。発達検査を実施した専門職からの意見や助言を参考にしている。各担当が訪問の際に行動観察を実施。	今後も継続して取り組み、職員の資質の向上を図る。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	保育所等訪問支援ガイドラインを確認したうえでどう支援すると良いかを考慮し設定している。	今後も継続して取り組み、職員の資質の向上を図る。
14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	基本、訪問は単独で行っているが、児発管と内容を共有しており、必要に応じて施設内専門職の同行も行った。	今後も継続して取り組み、職員の資質向上及びチームの連携強化を図る。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	課題や改善すべき点	
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	当日には記録システムに記録し、担当者他、事業担当者、児発管が確認し助言可能である。月1回担当間で報告、検討を行っている。	引き続き、訪問当日に限らず、定期的に担当職員間で打合せや気づきの共有をしていく。
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	6	0	・「保育を壊さない」ことを意識するよう統一している。 ・保育所の所長及び主任から、どう子どもたちを育てていきたいか、適宜伺っている。	今後も訪問先の意向を大事にしながら連携して取り組んでいく。
	17	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	6	0	・グループ支援や相談についても記録システムの活用により共有できる。 ・子どもの様子、担当職員からの質問に対しどう助言したか、また、その日の支援内容と保護者に報告したことも含め記録に残している。	今後も継続して取り組み、職員の資質の向上を図る。
	18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	常にモニタリングを行い、重要視している。	今後も継続して取り組み、職員の資質の向上を図る。
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	3	参加する機会はなかったが、実施する際にはそのようにしている	訪問に関しては実施がないが会議があった場合は参加したい。
	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	施設全体で日常的に連携の体制がある。	引き続き取り組んでいく。
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	訪問事業としては実績なし。事業所全体の方針としては、保護者の意向を確認したうえで就学先の先生と直接対面もしくは直接できない場合は文書等で引継ぎを行っている。	今後も必要に応じて情報共有を行っていく。
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	0	必要に応じチーム内、施設内の専門職種の助言を得ることができる。	今後も多職種間での連携も図りながら職員の質の向上に努める。
	23	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	3	訪問担当では機会がないが事業全体で役割分担をして参加している	参加した職員からの情報共有があるとよい。
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	電話連絡のみではなく、実際に保護者にお会いして報告、相談援助を行っている。	引き続き保護者とも連携を図っていく。
	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	訪問独自ではないが、法人内の事業として保護者向けに勉強会や講座を実施し情報提供に努めている。	グループ利用のない小学生以上には対応の難しさがある
	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	支援開始前に説明をおこない、契約時にも改めて個別に詳細を説明している。	今後も継続して取り組む。
	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6	0	支援開始前に児童発達支援管理責任者より説明をしている。	引き続き取り組む。
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	支援計画を作成する際、ご家族からの希望を伺い、作成し、確認作業も行っている。	引き続き取り組む。子どもの状況を適宜確認し、必要に応じて変更もしていく。
	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6	0	支援計画を作成し、保護者に対面にて内容を説明し、同意を得ている。	今後も継続して取り組む。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	課題や改善すべき点	
保護者等への説明等	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・訪問後の報告の際やグループ利用時等の機会を通じて行っている。 ・必要に応じて発達相談とあわせて支援も行っている。	今後も継続して取り組む。
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	訪問での実施はないが、施設内の他事業で実施している	グループ利用のない小学生以上には対応の難しさがある
	32	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	組織としてまとまった対応をしている。	今後も継続して取り組む。事業所全体でスムーズに対応することができるように役割を確認しながら、組織として責任をもって対応をする。
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2	訪問での実施はないが、他事業で「つうしん」の発行(グループ時)や掲示板などを利用して勉強会の案内等を行っている。ホームページを公開している。	SNSは活用していない。また、グループ利用のない小学生以上には発信が難しい。
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報の取り扱いには十分に配慮するよう努めている。また、規程に基づき管理、研修を実施している。	今後も定期的な研修の実施とともに、個人情報の取り扱いには細心の注意を払いながら対応する。
	35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	子どもへの対応は視覚支援を重視している。保護者対応においても口頭だけでなく、必要に応じて見てわかりやすい説明を心掛けている。	今後も相手に応じて分かりやすい説明や意思疎通ができるよう取り組む。
訪問先施設への説明等	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6	0	状況に応じて、グループ活動の様子を見てもらう機会を設けたり、電話での相談も活用している。	今後も継続して取り組む。
	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6	0	訪問先の方針に応じているので、別室・同室など様々な形態がある	今後も継続して取り組む。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	6	0	その日のうちに保護者に連絡を入れ、助言した内容等をお伝えしている。	引き続き取り組む。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報の取り扱いには十分に配慮するよう努めている。また、規程に基づき管理、研修を実施している。	今後も定期的な研修の実施とともに、個人情報の取り扱いには細心の注意を払いながら対応する。
	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6	0	毎回訪問先の所長、主任、担当職員と、今困っているあるいはこの対応で良いか等の具体的な相談を伺い、助言に努めている。	今後も訪問先施設との連携を大切にしながら事業を進めていく。
非常時等の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・通園事業と併せ実施している。 ・訪問独自でなく施設として実施している。	今後も継続して取り組む。
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	訪問独自のものに加え、法人内で実施している。	今後も継続して取り組む。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	今年度は該当事項はなかったが、いつでも検討する体制はできている。	今後も継続して取り組む。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	訪問独自のものに加え、施設内、法人内で実施している。	今後も継続して取り組む。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	支援開始前に説明をおこない、契約時にも改めて詳細を説明している。	今後も継続して取り組む。